

うるま市立高江洲中学校  
学校だより  
2016年度 第4号  
発行:校長 比嘉 政宏



# 同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは  
同じころざしをもった仲間(友達)が集  
まった学校を目指すという意味です。

## “命どう宝” 「平和の尊さ」 について学ぶ

### 大田昌秀さんを招いて「平和講演会」

6月13日(月)、5校時に本校体育館にて平和集会を行いました。今年度の集会には、講師として元沖縄県知事大田昌秀氏をお招きし、「慰霊の日について考える」を主題に講話をいただきました。大田先生の講話の中で「平和とは何か」という問いかけに、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。子どもたちは、戦争の恐ろしさや悲惨さを改めて確認し、戦争は二度と起こしてはいけないという気持ちになったと思います。また、「命どう宝」という言葉をしみじみとかみしめ、「いじめ」のない楽しい学校にしようと思いを強くした貴重な一日となりました。



### 1学期の課題を克服しよう

今年は、台風の影響を受けずに1学期を終えることができそうだなと思っていたところに、観測史上2番目に遅い台風1号が発生(7月3日)しましたが、本島への接近がなかったことは幸いでした。20日(水)は1学期終業式ですが、子どもたちの主体性が発揮された、活気のある充実した学期でした。これも、保護者並びに地域の皆様のご支援・ご協力の賜のであることは言うまでもありません。誠にありがとうございます。さて、今月は12日より三者面談(教育相談)を実施しました。この三者面談は、1学期の学習状況等を担任・保護者・生徒の三者が共に振り返り、良かった点と課題点を明確にすることを目的としています。そして、良かった点はさらに伸ばし、課題点は改善することを、この夏休み期間中に行うことを確認する大切な場でもあります。そこで、保護者の皆様にお願いですが、担任先生から指摘された課題改善については、お子様と一緒に取り組んで欲しいと思います。1学期の課題は1学期の内に克服することが大事になります。2学期のスタートを夢と希望をもって迎えられるように家庭学習環境の充実をお願いいたします。

### 学力向上推進に係る取組

#### ①わかる授業づくりのための授業改善

本校では、校内研修の一環として、全教師が研究授業を実施します。教師によっては、教育委員会の依頼を受け、公開授業を実施することもあります。また、校内研修において、指導主事等を招聘し授業研究会を実施します。あるいは、ミニ授業参観として、管理職に授業を参観してもらい、助言をもらう等、普段からわかる授業づくりに努めています。

#### ②リベンジタイムの実施(放課後補習計画)

今年度から、放課後の30分間を補習時間として位置づけ、曜日毎に5教科(国語、数学、英語、理科、社会)の補習指導を実施しています。普段の授業であまり理解できなかったことを補習する大切な取組です。対象生徒は教科担当の先生が決定します。

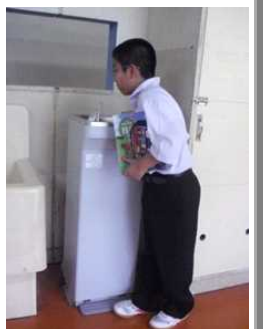
#### ③放課後子ども教室の実施(放課後学習計画)

今年度から、本校でも放課後子ども教室を開級しました。内容は、放課後の2時間程度、週3回、曜日毎に数学と英語の学習指導を実施します。講師は3名のボランティアの方が担当しています。対象生徒は、リベンジタイムとは異なり、普段の授業の予習や復習を希望する生徒で、定員は10名です。



### 3台目の冷水機を設置

P T A総会で承認していただいた、新しい冷水機3台が校舎の1、2階フロアに設置されました。これまで、本校には数台の冷水機が設置されていましたが、昨年度には、1台しか使用できなくなり、子どもたちは水筒持参するとい事態になりました。しかし、今回、冷水機が3台増えたことで、水筒持参が解消されました。まだまだ、十分な設置台数ではありませんので、今後も、P T A役員や教育委員会と連絡調整を重ね、冷水機を増やしていきたいと考えています。



### 市指定授業研究会 3年3組 英語

6月29日(水)、本校体育にて、市指定の公開授業を実施しました。授業者は川畑貴美子先生、学級は3年3組でした。普段とは異なる学習環境でしたが、教師も生徒も普段通りの授業をし、多くの参観者から好評価をいただきました。特に、講師としてお招きした東京大学大学院教授市川伸一先生からは、「子どもたちはとても元気があり、楽しそうに授業に参加していた。川畑貴美子先生と子どもたちのやりとりもテンポよく、活気のある素晴らしい授業であった」と大好評でした。川畑先生、そして3年3組の生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。



### 市少年の主張大会 最優秀賞



7月7日(木)、うるま市青少年健全育成協議会主催、第12回うるま市少年の主張大会において、本校3年生儀保里緒乃さんが、最優秀賞に輝きました。儀保さんは、自分の体験をもとに、「ことばのチカラ」について発表しました。儀保さんは、中頭地区大会への派遣が決定しています。